Genius English Communication I, II

教科書の読みを深める『学習ノート』の効果的な活用法

田中知聡

いよいよ新学習指導要領のもと「コミュニケーション英語Ⅰ」の教科書を用いた授業が始まります。各校では実施に向けて様々な準備が進められていることと思います。*Genius English Communication I* は話題が豊富でメッセージが深く，国際社会に生きていく人材を育成する上でもとても興味深い内容になっています。その教科書の良さを最大限に引き出す授業を展開する目的で『学習ノート』は構成されています。スムーズに授業へ導入し，「発問」を通して生徒に目的を与え，何度もテキストに向き合うことになります。その中で生徒はメッセージに気づき，新たな発見や感動を体験していくでしょう。以下に『学習ノート』の効果的な活用方法を見ていきます。

1.『学習ノート』の効果的な活用方法

①「読みたい」と思わせる **Pre-Reading**

レッスンの各パートの初めに，オーラル・イントロダクションとして利用できる簡単な質問が用意されています。この問いを利用して教師が生徒と英語でやりとりをしたり，JTE と ALT が会話をしたりすると英語での導入がスムーズにできます。生徒からは様々な意見や自らの体験が返ってくるでしょう。この活動により，本文を読む動機づけにもなりますし，話題を身近なものとして捉えることができるはずです。時間があれば英語による会話を続けたり，より多くの生徒に答えさせたりしてもよいですし，時間がないときにはさっと確認する程度でも十分だと思います。

②「大意把握」をさせる **First Reading**

教科書本文の大まかな内容をつかむ簡単な問いです。キーワードを手掛かりに大意をつかませます。速読として読ませたり（Reading），リスニング活動として聞かせたり（Listening）すると効果的です。

私はよく，生徒に語りかけるように，強弱をつけながら読み聞かせます。そうすることで，生徒にとって少し難解だと思われる内容であっても取り組みやすくさせることができます。また，ナチュラルスピードで読み聞かせたり，CD を聞かせるのもよいでしょう。少しチャレンジングな方がよく取り組む生徒には，緊張感があります。

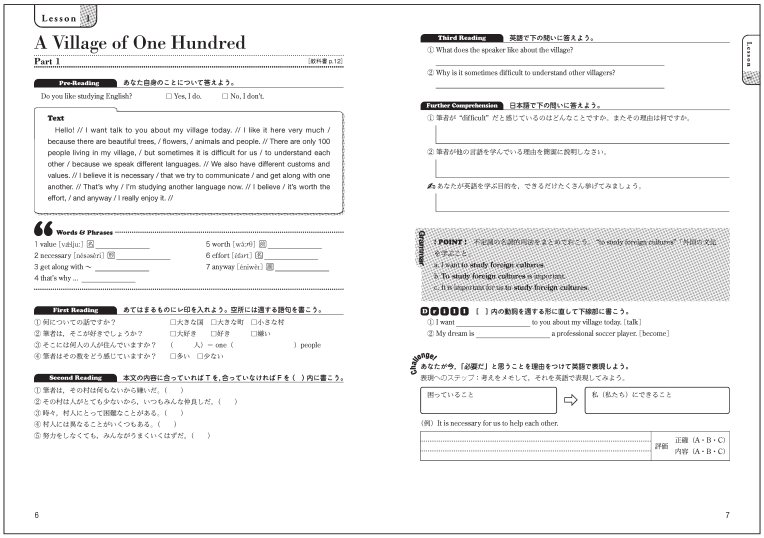
『学習ノート』の問いは日本語で書かれていますが，それを手掛かりに教師が英語で質問し，生徒にも英語で答えさせることをお薦めします。

③「しっかり読ませる」**Second Reading**

教科書本文のより詳しい内容理解へ導く問いです。問いに答えるためには，生徒がすでに知っている英語の知識をフルに活用して新出単語や熟語の意味を推測したり，全体を読み返したり，自ら辞書で調べたりしながら読み進める必要があります。文法項目にも自然に意識を向けるでしょう。授業中は，読ませる（Reading）だけではなく聞かせる（Listening）活動として用いても構いません。また，答えを確認する際には，語句や構文，文法がどのような意図で使われているかを確認するとよいと思います。

④ Third Reading

教科書に掲載されている問いと同じ問いです。英問英答ですので，授業中は会話を重視して単語レベルでもよいので英語で答えさせ，後で正確に書かせて確認をするなど生徒のレベルに応じて活用できます。


Lesson 1

A Village of One Hundred

Part 1 〔教科書 p.12〕

Pre-Reading あなた自身のことについて答えよう。

Do you like studying English? □ Yes, I do. □ No, I don't.

Text

Hello! // I want talk to you about my village today. // I like it here very much / because there are beautiful trees, / flowers, / animals and people. // There are only 100 people living in my village, / but sometimes it is difficult for us / to understand each other / because we speak different languages. // We also have different customs and values. // I believe it is necessary / that we try to communicate / and get along with one another. // That's why / I'm studying another language now. // I believe / it's worth the effort, / and anyway / I really enjoy it. //

Words & Phrases

1 value [vǽljuː] 名 _____
2 necessary [nésəsèri] 形 _____
3 get along with ～ _____
4 that's why ... _____
5 worth [wə:θ] 形 _____
6 effort [éfərt] 名 _____
7 anyway [énəwèi] 副 _____

First Reading あてはまるものに○印を入れよう。空所には適する語句を書こう。

① 何についての話ですか？ □大きな国 □大きな町 □小さな村
② 筆者は，そこが好きでしょうか？ □大好き □好き □嫌い
③ そこには何人の人が住んでいますか？ （ 人）＝ one（ ）people
④ 筆者はその数をどう感じていますか？ □多い □少ない

Second Reading 本文の内容に合っていればＴを，合っていなければＦを（ ）内に書こう。

① 筆者は，その村は何もないから嫌いだ。（ ）
② その村は人がとても少ないから，いつもみんな仲良しだ。（ ）
③ 時々，村人にとって困難なことがある。（ ）
④ 村人には異なることがいくつもある。（ ）
⑤ 努力をしなくても，みんながうまくいくはずだ。（ ）

6

Third Reading 英語で下の問いに答えよう。

① What does the speaker like about the village?
② Why is it sometimes difficult to understand other villagers?

Further Comprehension 日本語で下の問いに答えよう。

① 筆者が "difficult" だと感じているのはどんなことですか。またその理由は何ですか。
② 筆者が他の言語を学んでいる理由を簡潔に説明しなさい。
✍ あなたが英語を学ぶ目的を，できるだけたくさん挙げてみましょう。

Grammar

! POINT ! 不定詞の名詞的用法をまとめておこう。"to study foreign cultures" 外国の文化を学ぶこと
a. I want to study foreign cultures.
b. To study foreign cultures is important.
c. It is important for us to study foreign cultures.

DRILL ［ ］内の動詞を適する形に直して下線部に書こう。
① I want _____ to you about my village today. [talk]
② My dream is _____ a professional soccer player. [become]

Challenge! あなたが今，「必要だ」と思うことを理由をつけて英語で表現しよう。
表現へのステップ：考えをメモして，それを英語で表現してみよう。

困っていること ⇨ 私（私たち）にできること

（例）It is necessary for us to help each other.

評価 正確（A・B・C） 内容（A・B・C）

7

学習ノート

⑤「深く読ませる」Further Comprehension

教科書本文の内容をより深く理解させる問いです。これらの問いに答えさせることで，本文の主題を捉えるように導くことができます。✍マークの問いは答えが一つではない問い（open questions）です。そのため，さまざまな意見や解釈が出てきて構いません。読み取った内容について生徒一人ひとりがどのように解釈したか，なぜそう考えたのかを授業で共有するとよいでしょう。英語で意見を言える生徒には英語で表現させるよう励ますと，さらによい活動になると思います。

時間がない場合は省略しても構いませんが，できれば 2 ～ 3 文くらいの簡単な英語で教師自身が意見を述べたり，JTE と ALT が意見を述べ合うのを生徒に聞かせたりする活動に応用することも可能です。こうしたテキストのメッセージを重視した問いは，筆者が何を伝えようとしているのかに焦点を当てて読ませることを促します。ぜひ，読みを深める問いとして活用してください。

⑥文法を確認する Grammar

教科書本文の中で押さえるべき文法のポイントをまとめています。簡単な Drill などを用意しているため，短時間でポイントを確認できます。

⑦「自己表現活動」を目的とした Challenge!

文法項目や読み取った内容を基に，自分のことや身の周りのことを英語で表現させる活動です。表現に自由度があるため，生徒は自分自身の体験や考えを基に英語で表現することができます。

生徒が書いた英文を教師が読むのもよいですが，授業中にペアで確認させたり，グループで発表させたり，何名かの生徒に黒板に書かせてクラスで共有したりするとよいでしょう。評価欄の（A・B・C）は教師が添削して返却する際に便利です。生徒は内容だけではなく正確さも意識するようになり，次につながります。英文を返却する前に何人かの生徒の英文をコピーしたものを配布してフィードバックをするのも効果的です。生徒はとても楽しみにしているはずです。

2．有意義な英語授業に向けて

新学習指導要領を実施する上で，「何だろう？」と生徒の興味をくすぐったり，「簡単なことから難しいことへ」ステップを組んだり，「自ら気づく喜び」を味わえるように仕組んだり，「伝えたいメッセージ」を持たせる工夫をしたりすることは不可欠です。ぜひ『学習ノート』を活用して，授業を楽しんでください。

（たなか　ちさと・山梨県立甲府城西高等学校教諭）